

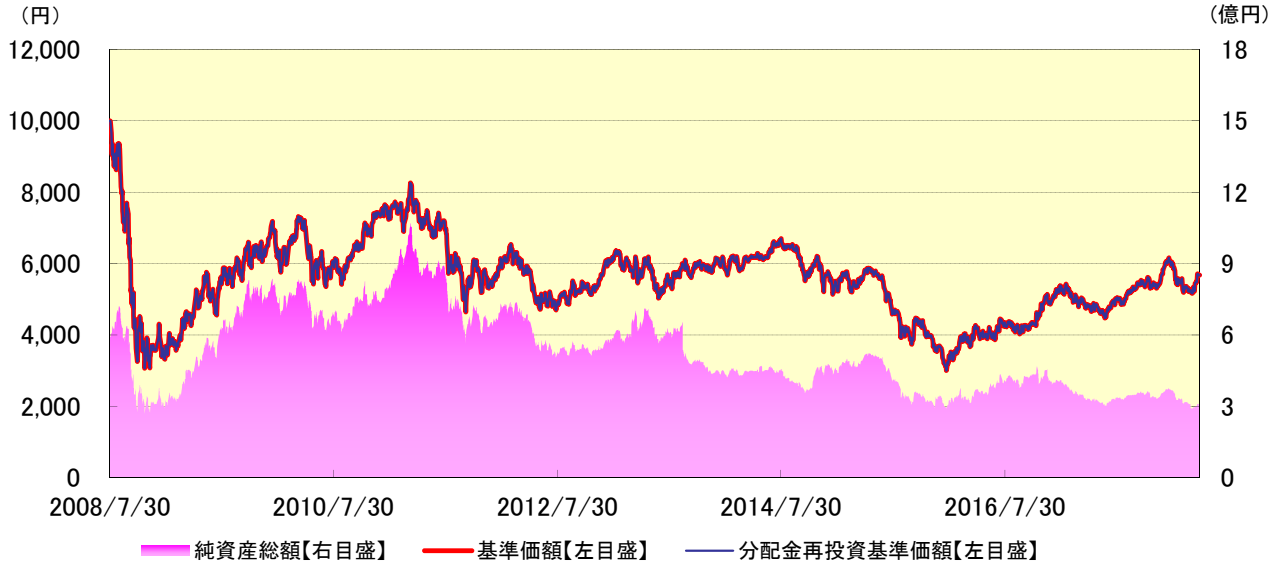
運用状況

設定日	2008年7月31日	償還日	2018年5月20日	決算日	原則2月、5月、8月、11月の20日
当初設定元本	591百万円				

基準日	2018年4月27日	前月末比	※基準価額は、10,000口当たりです。		
基準価額	5,678円	+491円	設定来高値	10,000円	2008年7月31日
純資産総額	281百万円	-10百万円	設定来安値	3,010円	2016年1月21日

◆運用実績 —ファンドの基準価額と純資産総額の推移—

(期間: 2008年7月30日～2018年4月27日) ベンチマーク: なし



- ・基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。
- ・分配金再投資基準価額は、決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出した収益率に基づきます。
- ・基準価額および分配金再投資基準価額は、設定日前営業日(2008年7月30日)における値を10,000円として指数化しております。

◆期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	9.5%
3ヵ月	-3.0%
6ヵ月	5.1%
1年	18.6%
3年	-2.3%
5年	-0.9%
10年	
設定来	-43.2%

ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額より算出しており、実際の投資家利回りとは異なります。

◆分配等実績 (分配金は10,000口当たり、税引前)

決算期	日付	分配金	決算期	日付	分配金
第16期	2012/05/21	0円	第28期	2015/05/20	0円
第17期	2012/08/20	0円	第29期	2015/08/20	0円
第18期	2012/11/20	0円	第30期	2015/11/20	0円
第19期	2013/02/20	0円	第31期	2016/02/22	0円
第20期	2013/05/20	0円	第32期	2016/05/20	0円
第21期	2013/08/20	0円	第33期	2016/08/22	0円
第22期	2013/11/20	0円	第34期	2016/11/21	0円
第23期	2014/02/20	0円	第35期	2017/02/20	0円
第24期	2014/05/20	0円	第36期	2017/05/22	0円
第25期	2014/08/20	0円	第37期	2017/08/21	0円
第26期	2014/11/20	0円	第38期	2017/11/20	0円
第27期	2015/02/20	0円	第39期	2018/02/20	0円
			設定来分配金累計額		0円

◆ポートフォリオの状況

ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスJ投資証券	0.0%
ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券	0.0%
その他資産	100.0%

※上記の組入比率は純資産総額に対する比率を表示しています。

設定来高値および設定来安値にて、各々、同一の基準価額が複数存在する場合、直近の日付を表示しています。
運用実績および分配実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。
当資料の作成において、投資信託説明書(交付目論見書)に記載する運用実績とは作成基準が異なる場合があります。
そのため、両者の表記内容が一致しないことがあります。

◆お知らせ

当ファンドは2018年5月20日に満期償還を迎えました。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

《主要投資対象である投資証券の運用状況》

ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスJ投資証券（「鉱山株ファンド」）

◆国別投資比率

順位	国名	比率
1	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-

◆通貨別投資比率

順位	通貨名	比率
1	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-

満期償還を迎えるにあたり、当該投資証券を全て売却済のため、記載を省略しております。

◆業種別投資比率

順位	業種名	比率
1	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-

◆組入上位銘柄

順位	銘柄名	業種名	比率
1	-	-	-
2	-	-	-
3	-	-	-
4	-	-	-
5	-	-	-
6	-	-	-
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-

国名および業種分類は、ブラックロック社の分類に基づきます。

各表の比率は「鉱山株ファンド」の純資産総額に対する比率を表示しています。

◆市場概況

【市場概況】

4月の鉱山関連株は、当ファンドの参考指数でもあるユーロマネー・グローバル・マイニング・インデックス（米ドルベース）で見ると、前月末対比で上昇しました。非鉄金属市場では、米国によるロシアへの追加経済制裁による同国からの供給が懸念されたアルミニウムなどの価格が上昇しました。貴金属市場については、依然として投資家のリスク回避姿勢が残っていることなどを背景に、金価格は方向感に欠ける推移が続きました。

※運用コメントは、「鉱山株ファンド」の運用を行うブラックロック社から提供された資料に基づき、アセットマネジメントOneが作成しています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

資産組入状況・運用コメント

《主要投資対象である投資証券の運用状況》

ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券（「エネルギー株ファンド」）

◆国別投資比率

◆通貨別投資比率

順位	国名	比率	順位	通貨名	比率
1	-	-	1	-	-
2	-	-	2	-	-
3	満期償還を迎えるにあたり、当該投資証券を全て売却済のため、記載を省略しております。				
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

◆業種別投資比率

◆組入上位銘柄

順位	業種名	比率	順位	銘柄名	業種名	比率
1	-	-	1	-	-	-
2	-	-	2	-	-	-
3	-	-	3	-	-	-
4	-	-	4	-	-	-
5	-	-	5	-	-	-
6	-	-	6	-	-	-
7	-	-	7	-	-	-
8	-	-	8	-	-	-
9	-	-	9	-	-	-
10	-	-	10	-	-	-

国名および業種分類は、ブラックロック社の分類に基づきます。

各表の比率は「エネルギー株ファンド」の純資産総額に対する比率を表示しています。

◆市場概況

【市場概況】

4月のエネルギー関連株は、当ファンドの参考指数でもあるMSCIワールド・エネルギー・インデックス(米ドルベース)で見ると、前月末対比で上昇しました。原油価格は、米国と中国の貿易摩擦を巡る懸念がやや後退したことや中東における地政学的リスクの高まり、米国の原油供給過剰懸念が後退したことなどを背景に上昇しました。また、米国の天然ガス価格も上昇しました。

※運用コメントは、「エネルギー株ファンド」の運用を行うブラックロック社から提供された資料に基づきアセットマネジメントOneが作成しています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

グローバル資源株ファンドは、世界の資源株に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

1. 世界の資源株を主要投資対象とします。

◆当ファンドにおいて「資源株」とは、鉄鉱石・銅・アルミニウム・金などの「鉱物資源」や、石油・天然ガス・石炭などの「エネルギー資源」の探査・採掘・加工・販売などを行う企業の株式(「鉱山株」や「エネルギー関連株」)をいいます。

2. ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

◆当ファンドは、下記のファンド(「投資対象ファンド」といいます。)を通じて、世界の資源株に投資を行います。

ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスJ 投資証券
(以下「鉱山株ファンド」ということがあります。)

ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX 投資証券
(以下「エネルギー株ファンド」ということがあります。)

◆各投資対象ファンドへの投資割合は、「鉱山株ファンド」に3分の2程度、「エネルギー株ファンド」に3分の1程度とすることを基本とします。

※基本投資割合は、市況動向、当ファンドの資金事情、および投資対象ファンドの収益性・流動性等を勘案して変更することがあります。

※投資対象ファンドの組入比率は、高位を維持することを基本とします。

◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

3. ブラックロック・グループが運用を行います。

◆当ファンドの運用指図(円の余資運用の指図を除きます。)に関する権限をブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。

◆鉱山株ファンドおよびエネルギー株ファンドの運用は、ブラックロック・グループの資源株のスペシャリストである「天然資源チーム」(ブラックロック・インベストメント・マネジメント(英国)リミテッド)が行います。

4. 年4回の決算時(原則、2月、5月、8月および11月の各20日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配を行うことを目指します。

・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

・分配金額は、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

・収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク

当ファンドが投資対象とする「鉱山株ファンド」および「エネルギー株ファンド」が投資を行っている企業の株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。投資対象の企業の株価は、鉱物資源の市場動向やエネルギー需要などの影響により変動します。また、それらの企業が業績悪化や倒産等に陥った場合には、当ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。なお、当ファンドは世界各国の資源株を実質的な主要投資対象としますので、世界の株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きは大きく異なる可能性があります。

為替変動リスク

当ファンドでは、外貨建資産への投資にあたり、原則として為替ヘッジは行わないため、投資対象通貨と円との外国為替相場が円高となった場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、当ファンドが投資を行う投資信託証券は、外貨建資産に投資を行いますので、価格は為替変動の影響を受けます。

カントリーリスク

当ファンドの実質的な投資先となっている国(地域)の政治・経済・社会・国際関係等が不安定な状態、あるいは混乱した状態等に陥った場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではなく、上記以外に「流動性リスク」、「信用リスク」などがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

・投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入の取扱い	購入の申込期間は2018年5月16日まで ※当ファンドの信託期間は2018年5月20日までとなっております。お申込みの際には信託期間にご留意ください。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ルクセンブルグ証券取引所の休業日 ・ルクセンブルグの銀行の休業日(半日営業日を含みます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2018年5月20日まで(2008年7月31日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき。 ・やむを得ない事情が発生したとき。 ・信託契約の一部解約により、受益権の口数が10億口を下回ることとなるとき。
決算日	毎年2月、5月、8月、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	ありません。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.8684%(税抜1.73%) ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※委託会社の信託報酬には、当ファンドの円の余資運用以外の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(ブラックロック・ジャパン)に対する報酬(当ファンドの信託財産に属する投資対象ファンドの時価総額の合計額に対して年率0.756%(税抜0.7%))が含まれます。 (投資対象ファンドの運用管理費用) *投資対象ファンドの運用管理費用相当額は、ブラックロック・ジャパンが受け取る当ファンドの外部委託契約にかかる報酬より支払われます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 監査費用は毎日計上され、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等は都度ファンドから支払われます。 ※投資対象ファンドにおいても、保管費用および事務の処理に要する諸費用等がかかります。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
 [ファンドの運用の指図を行う者]
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください

◆委託会社の照会先 ◆

アセットマネジメントOne株式会社
 コールセンター 0120-104-694
 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
 ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

販売会社一覧(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

加入している金融商品取引業協会を○で示しています。

■ 販売会社	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○		○		□
株式会社きらやか銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第15号	○				□
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	□

※上記の表は、アセットマネジメントOne株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から、細心の注意を払い作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

※備考欄の「□」は、現在、当ファンドの新規の募集・販売を停止している販売会社を示しています。

※お客さまへの投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社において行います。